



JR安曇川駅東口風景

○敦賀市議会との意見交換会
当委員会は去る2月7日、敦賀市議会と意見交換を行いました。かつて、明治初期には福井嶺南地域は滋賀県に属していたことから、関西圏への意識が強く増田一司敦賀市議会議長は「新快速電車

の敦賀への乗り入れを契機として、高島市と各方面で連携を図っていききたい」と述べられました。
○JR西、金沢・京都支社への情報収集活動
2月23日、琵琶湖環状運行の具現化に伴う情報収集のためJR西、金沢・京都支社を訪ね、

また、京都支社では山下運輸課長から「環状線により、今後の利便性の向上を検討していきたい」、また南営業課長代理は、「地域の観光イベントなど、JRを使った企画、どんどん提案してください」と語られました。



岡山県・陸上自衛隊日本原演習場



饗庭野基地対策特別委員会は所管の事項による調査研究のため去る1月30日陸上自衛隊日本原演習場を有する岡山県奈義町へ視察研修にまいりました。当町では昭和36年に自衛隊の誘致が決議され同時に基地周辺整備、農業改善事業、工業団地、

畜産基地建設事業など相次いで大規模開発が進み、教育文化・産業の振興など調和のとれた町としての基盤が確立されています。国道53号、中国自動車道の開通、工業団地の完成等広域交通網の整備に伴い立地条件に恵まれた工業団地には、さ

さまざまな企業が誘致され産業の振興が図られています。正に自衛隊をうまく活用した施策であり、今後は高島市においても防衛庁や防衛施設局に対し強力な要望活動をおこすべきであります。帰りに町の職員の家内で演習場の周辺を視察いたしました。距離的にハードなスケジュールでしたが、有意義な研修が出来たと思えます。



琵琶湖環状線対策特別委員会

委員長 渡邊 近治

◆今秋、湖西線・北陸線・琵琶湖線をつなぐ琵琶湖環状線が実現

議会運営委員会

委員長 森江 稔

◆一問一答式導入について県内研修

去る2月16日粟東市、彦根市、米原市、県内3市議会を研修致しました。
最初に粟東市を訪問。双方挨拶、紹介の後一問一答方式について意見交換、発言時間は質問者は30分以内、答弁者は概ね30分、発言席は質問者も答弁者も1回目は登壇して行い2回目以降は自席から行う。発言回数制限なし、一問目一括質問一括答弁、2回目から一問一答式とのこと。
次に彦根市議会にお



県内3市議会議場視察風景

いては03年度から採用を検討し05年12月より試行的に導入、適時協議を重ね06年10月定例会から本格導入することであった。
最後の研修地、米原市議会、05年10月1日再度の合併で坂田郡が一つになり誕生した米原市であります。一般質問については、合併当初より一問一答方式を採用、質問回数3回、時間は質問者のみ30分以内であった。
当日は1日3ヶ所で行ったが実のある研修であった。その後協議で協議を重ね議会活性化のため3月定例会より試行的に導入を決定実施した。これといったトラブルもなく、質問者にも好評であった。今後研修協議を重ね改善に努めたいと思っています。

当委員会の所管事項である「経営と施設のあり方に関する事項の調査・研究」の一環として、平成18年2月17日に岐阜県大垣市の大垣市民病院へ「自治体病院の経営のあり方」を研究テーマとして行政視察しました。
大垣市民病院では、①医師、看護師、事務職員の提言や意見を

聴取検討し、病院経営に対する意識改革に取組んでいる。
②経営内容の情報を幹部会、所属長会、委員会、経営改善委員会（16人）、諸委員会へ口答または文書で伝達し、更には、収支面やコスト等健全経営の目標についても周知徹底の方策を講じている。



研修風景



大垣市民病院

高島病院対策特別委員会

委員長 大西 勝巳

③県内の病院と情報を共有化する為病院協会等の組織を活用、情報交換を実施して効果を上げています。
④今後も街の開業医からも慕われ激励される自治体病院として市民に愛される病院に万全を期したいとの事でありました。
現在の公立高島総合病院には種々の課題が山積しておりますが、経営改善に最善の努力をされ、高島地域の中核病院として、一次医療を支援するとともに、二次医療機関としての役割が果たせる病院体制の充実を期待します。